

2017年度活動報告

▲創設初期よりの会員である愛媛県議の渡部伸さん（東温市）が逝去された。黙祷。

しかし新入会員を得て会員数は2プラスの48人に。（ただし「永久名誉会員」の国賀さんを含むので、実質は47人）

◎47 会員中、現職議員 25、前元職 8、候補検討者 14

近畿 37（大阪 31・兵庫 5・京都 1）、中部 1（愛知）、北陸 1（石川）、
関東 4（東京 3・千葉 1）、東北 2（福島・秋田）、九州 2（鹿児島）

・国内国外ともに激動の年だった。●森友疑惑・加計疑惑・山口レイプ逮捕握り潰し事件・閣僚不正等々、
ふつうなら1つだけでも内閣退陣のスキャンダル続出！アベ政権は証拠隠しや改竄・居直り・マスコミ操作・ウヨ動員・批判者攻撃で居直り、「日本社会のヘイト化」が進んだ。

7月：都議選：アベ自民大敗（「こんな人達」事件）小池の「都民ファースト」圧勝

9月突然の衆院解散→10/22 衆院選挙で大勝して極右政治をさらに進めた。

★会員は安倍政治反対・戦争法体制反対・辺野古基地反対・原発再稼働阻止、等で奮闘した。

当ネット副会長の木村議員が「森友問題追及の端緒を開いた豊中市議」として全国的注目を受ける

→それへの反動として連帯労組・連帯ユニオン議員ネットを誹謗する右翼フェイク本が90万部発行

★当ネットの関西会員を基盤として「反原発自治体議員・市民連盟：関西ブロック」が結成された

◎資料郵送は5回行なった。有料事務局員によって種々の事務作業を行なう体制が定着。

・メーリングリストが少しだけ活発になった。「資料添付可能なML」が課題となった。

●「会員有志の発案企画による勉強会的集会」の年度方針は、各人多忙で実行できなかった。

2018年度役員人事(案)

代 表：戸田ひさよし・大阪府門真市議

・連帯ユニオン近畿地本顧問

副代表：木村まこと・大阪府豊中市議

中西とも子・大阪府箕面市議

メッセージを寄せてくれた大会欠席者

大津留求（伊丹市議）、西川たけお（前吹田市議）、松平要（東大阪市議）
結柴誠一・新城せつこ（杉並区議）
長南博邦（おさなみ・千葉県野田市議）
北上哲仁（川西市議）、酒井弘行（豊中市議）、円谷寛（前福島県鏡石町議）、
三浦よしお（前守口市議）、高木りゅううた（高槻市議）※メッセージ紹介は近日中にメーリングリストやHPにて

2018年度活動素案

- 1：郵便ニュース・資料発送を年間4回程度行なう。
- 2：会員の増加、議員会員の増加を目指し、選挙のある会員に出来る範囲での支援を行なう。
- 3：行政・企業の改善、地域住民の生活労働条件の向上に資するべく、会員相互・会員と連帯ユニオンとの連携を進める。「違法企業に甘い行政」の体質改善を共同して行なう。
- 4：反ヘイト施策（「住民の安全と尊厳を守る行政責務」、道路も含む公共施設を使わせない、積極啓発や被害救済等）を行政に実施させる活動を拡大強化する。
- 5：全原発の停止廃止を求める種々の運動と連携する。「沖縄意見広告運動」に協力する。
- 6：連帯ユニオンと力を合わせて「大阪広域生コンクリート協同組合」の「ヘイト右翼と結託した連帯労組攻撃」をやめさせる運動を起こしていく。
- 7：安倍政権打倒、改憲阻止、反自公維新の野党共闘推進運動に積極参加する。
- 8：★会員有志の発案企画による「勉強会的集会」を1回は開催する。（独立採算制を基本に）
行政や政治を変える実践に役立つ中身で、じっくり話し合い、考えを深められるやり方で。
- 9：メーリングリストを「資料添付可」のものに刷新して活発にしていこう。
- 10：第14回大会を2019年の2月前半に行なう。ほか。